

## つながり展プロジェクト： むすんで拓くインタラクション

慶應義塾大学 環境情報学部 4 年

岩崎恵美

t09081mi@sfc.keio.ac.jp

### 1. はじめに

本報告書では、2012 年 9 月 13 日～9 月 15 日に開催されたつながり展の活動報告と研究成果の報告を行なう。

### 2. 目的

現代社会では、コミュニケーション手段が多様化する一方、家庭や学校、職場における人々の孤立や、地域コミュニティの崩壊など、人間関係の希薄化が懸念されている。そこで安村研究会は、人と人、人とモノ、モノとモノなど様々な「つながり」を支援する重要性に着目し、新たな「つながり」について提案・実践を行い、多くの人々にそれらについて考える機会を提供する。

### 展示会の開催報告

#### 3-1 開催概要

本展示会の開催概要は次の通りである。

- ・開催期間：2012 年 9 月 13 日(木)～9 月 15 日(土)
- ・会場：慶應義塾大学日吉キャンパス来往者
- ・Web ページ：<http://ylab.sfc.keio.ac.jp/tsunagari-ten/>



会場の様子

#### 3-2 趣旨

本展示会では、体験可能なプロトタイプを用いたデモンストレーション型の展示と様々な「つながり」にゆかりのある識者とのトークセッションを実施することで、「つながり」における新たなインタラクションデザインの提案と、各作品のユーザー評価を行なうことを趣旨とした。

#### 3-3 出展作品

会場では全 13 点の作品が展示された。その中でも特に注目を集めた作品を次に記す。

##### ・つながりの木

一人ひとつ、好きな色のボールをつなげ、展示会場にシンボルツリーを作るという作品。展示会当日はツリーができる様子が Ustream 配信された。

### ・てあそびぶくろ

子どもの頃、手を重ねて遊んだ手遊び。人と人が触れ合う瞬間を、光を使って演出する手袋型デバイス。

その他の作品：路上 de ハーモニー、BeUnity、Chair for Two Scenery、びびつとカート、Ding Dong、cago、rakugacation、Topick-Up、つながり BUTTON、そこにいる名無しさん、Favorymous

### 3-4 トークセッションの開催

本展示会の開催期間中、毎日講演者を招き「つながり」をテーマとして約 90 分間のトークセッションを実施した。つながりというキーワードに纏わるフィールドで活躍されているゲストと講演テーマは次の通りである。

(1)9月13日(木)14:00～「絶望と幸福のはざま」

- ・古市 憲寿(社会学者&作家)
- ・安村 通晃(慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

(2)9月14日(金)14:00～「女のつながり欲、男のつながり欲」

- ・山本 貴代(女の欲望ラボ代表/女性生活アナリスト)
- ・勝屋 久(勝屋久事務所代表/プロフェッショナル・コネクター)
- ・安村 通晃(慶應義塾大学 環境情報学部 教授)



トークセッションの様子

(3)9月15日(土)14:00～「婚活+恋愛アーキテクチャ」

- ・白河 桃子(少子化ジャーナリスト)
- ・小川 克彦(慶應義塾大学 環境情報学部 教授)
- ・安村 通晃(慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

### 3. 今後の展望

本プロジェクトの実施により、我々は研究の早い段階での体験可能なプロトタイプ作製を実現し、実社会からの評価を取り入れることができた。今後その評価をもとにより研究を深めよりアカデミックな学会発表や論文投稿につなげていきたい。

### 4. 謝辞

本展示会の実施において、その研究遂行に協力いただいた安村研究室の教員・学生の皆様、講演会のゲストの皆様、そして228名の「つながり展」にご来場いただいた皆様にも感謝したい。本研究は、2012年度湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」の支援の下に行なわれた。